

瀬戸内の原風景

多様な生き物ひとことコーナー (人間もいるよ)



文つき一画

日本生態学会と日本ベントス学会は、事業者および関係者庁・自治体に対し、この海域の適正な環境調査を行うよう、2000年以降再三要望してきました。2008年より日本鳥学会も同様の申入れを行っています。しかし調査はまだまだ実施されていません。

日本生態学会が2010年3月に提出した調査書
http://www.esj.re.jp/esj/ESJ_Memo/2010Kaninoseki.html

上関のことをもっと知る！リンク

- ★上関原発を建てさせない祝島島民の会 ホームページ <http://shimabito.net/>
- ★祝島島民の会 blog <http://blog.shimabito.net/>
- ◆「祝島島民の会」へのカンパをお願いします。郵便振替口座：01390-4-67782
 加入者名：祝島島民の会 (イフインマトウミンカイ)
 ★長島の自然を守る会 スナメリ通信 <http://green.ap.teacup.com/sunameri/>

原子力発電はCO₂排出量の削減に役立ちません。これからは、太陽光など、再生可能エネルギーを選ぶ時代です。

- ★みんなを誘って映画を観に行こ～！ 自主上映会もできるよ！
 『祝の島』(ほうりのしま) <http://www.hourinoshima.com/>
 『ミツパチの羽音と地球の回転』 <http://888earth.net/index.html>

- ★上関現地の写真展をやってみよう！
 ・長島の自然を守る会 yamatori@gninet.brnba.cc (写真パネル担当)
 ・ぶんぶん族のふ写真セット nan.deya_nen777@yahoo.co.jp
 ・「中電さん、さようなら」のパネル bowzi@iwashima.jp

★祝島や長島に行ってみよう！

- ★祝島の豊かな自然の恵み味わってみよう！
 『祝島市場』 <http://www5d.biglobe.ne.jp/~jfw-iwai/>
 海の幸、山の幸が通信販売で購入できます。

上関原子力発電所計画関連年表

【国】国の関係機関 / 【県】山口県 / 【町】上関町 / 【中電】中国電力 / 【祝】祝島 / 【四】四代地区
 【上】上関地区 / 【長】長島の自然を守る会
 各種裁判関係については、各項目ごとに、提訴を★(入会後)、■(漁業権)、▲(調査)、●(横立で)、◆(自然の権利)、▼(工事関係)とし、その結果を各項目ごと白抜き(★・○・▼)で示しています。



- 1982年 【町】 原発誘致表明
- 1982年 【中電】 有力候補地として上関町をあげる
- 1983年 【祝】 祝島漁協反対決議
- 1985年 【祝】 議会が原発誘致決議
- 1988年 【町】 中国電力に誘致申入れ
- 1994年 【中電】 立地環境調査開始
- 1996年 【中電】 県や町に建設申入れ
- 1998年 【中電】 四代地区共有地の一部を取得
- 1999年 【町】 ★四代地区の入会権確認などを求め提訴
- 1999年 【中電】 環境影響調査を資源エネルギー庁に提出
- 2000年 【国】 旧通産省が中国電力に追加調査を勧告
- 2000年 【上】 共同進捗管理委員会と四代・上関間漁協が進捗補償契約に調印
- 2000年 【祝】 ■祝島漁協、進捗補償契約無効確認を求め提訴
- 2001年 【四】 神社地売却に反対する四代正八幡宮の宮司(当時)の解任を県神社庁に要求
- 2001年 【四】 四代正八幡宮の宮司(当時)が県神社庁に売却拒否を表明
- 2001年 【県】 県知事が条件付きの計画同意の意見を国に提出
- 2001年 【国】 経産省が上関原発建設の電源開発基本計画組入れ決定
- 2003年 【四】 ☆山口地裁岩国支部が入会権を認める
- 2003年 【四】 神社本庁が四代正八幡宮の宮司(当時)を解任
- 2004年 【四】 神社本庁が土地売却に同意
- 2005年 【中電】 詳細調査開始
- 2005年 【祝】 ▲詳細調査禁止仮処分申立て
- 2005年 【四】 ☆広島高裁は共有地訴訟で中国電力逆転勝訴の判決
- 2006年 【祝】 □進捗補償契約無効確認請求訴訟で山口地裁岩国支部は請求を却下するが、許可進業者・自由進業者に受忍義務がないことを確認
- 2006年 【中電】 ■山口地裁判決に抗議するため、広島高裁に控訴
- 2007年 □広島高裁は許可進業者・自由進業者は共同進捗管理委員会の拘束を受けるとし受忍義務があると判示
- 2008年 【四】 ☆最高裁判所は共有地訴訟の原告を棄却。但し裁判官5名中2名の反対意見を付記
- 2008年 【長】 予定地で、絶滅危惧種カムリウミスズメ確認
- 2008年 【中電】 公有水面埋立て免許申請書を山口県に提出
- 2008年 【県】 公有水面埋立て許可
- 2008年 【祝】 ●埋立て許可の取消しを提訴
- 2008年 【祝】 □最高裁は進捗補償契約無効確認請求の原告を棄却
- 2008年 【祝】 山口県漁協祝島支店が進捗補償金受取り拒否
- 2009年 【長・祝】 ◆自然の権利訴訟提訴
- 2009年 【町・県】 炉心予定地・田ノ浦の遺跡再調査開始
- 2009年 【中電】 詳細調査終了
- 2009年 【中電】 ▼埋立て工事妨害禁止仮処分命令申立て
- 2009年 【中電】 ▼祝島の漁民と町外支援者2名に対する損害賠償を求め提訴
- 2010年 【中電】 原子力発電所1号機の原子炉設置許可申請を経済産業省に提出
- 2010年 【祝】 ▼妨害禁止を命じる山口地裁岩国支部に対し、仮処分決定の異議申立て
- 2010年 ▼山口地裁は中国電力の主張を認め、工事を中断させた場合1人当たり1日500万円の支払いを命じる
- 2010年 【祝】 ▼山口地裁処分を抗議するため、広島高裁に控訴
- 2010年 【国】 中国電力に対し、地質調査不十分のため再調査を要請

やってみよう！ 伝えよう！

- ★自分がメディアになって、Twitterやmixiで、またクチコミやブログで、上関原発について広めよう！
- ★「Green Heartsプロジェクト」に写真を送ろう！ <http://ameblo.jp/greenhearts/>

- ★中国電力や政府、マスコミに気持ちを伝えよう！
 ・中国電力株式会社 上関原子力発電所準備事務所 TEL 0820-62-1111 (〒742-1403 山口県基毛郡上関町大字室津288-13)
 ・内閣総理大臣 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-3-1 首相官邸受付) <https://www.kantei.go.jp/jp/ken.html>
 ・経済産業大臣 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1 経済産業省受付) http://www.meti.go.jp/comment_form/index.html
 ・環境大臣 (〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館 環境省受付) <https://www.env.go.jp/iodmail/>
 ・全国紙や地方紙の記者クラブ

豊かな海を埋め立てちゃうの？

この田ノ浦が、埋め立てられようとしています。埋め立てによってこの海域の貴重な生きものが絶滅する危機にさらされます。漁業への深刻な影響も心配されています。上関町では、田ノ浦の正面に位置する祝島を中心に、多くの人々が海とともに自然に寄りそった暮らしを営み、埋め立てに強く反対しています。

瀬戸内の原風景・上関の海を、このまま未来につなぎたいと私たちは願っています。

上関原発どうするの？
～瀬戸内の自然を守るために～

「上関原発どうするの？～瀬戸内の自然を守るために～」(略称 上関どうするネット)は、2009年秋に東京で設立された市民ネットワークです。山口県上関町長島での原子力発電所建設計画に伴う埋め立ての中止を求めて、主に首都圏で活動しています。議員への働きかけや署名活動に取り組むとともに、2010年5月にはシンポジウムとパレードを東京で開催しました。



上関原発どうするの？～瀬戸内の自然を守るために～(略称 上関どうするネット)
 電子メール dousuru_net@mail.goo.ne.jp (連絡はなるべくメールでお願います)
 電話 03-3357-3800 (原子力資料情報室気付 担当: 伴・永井)
 ブログ http://kaminoseki.blogspot.com/
 ◆「上関どうするネット」へのカンパをお願いします。カンパは活動の為に役立てます。
 郵便振替口座: 00130-3-338139 / 加入者名: 上関どうするネット

発行: 上関原発どうするの？～瀬戸内の自然を守るために～ / 2011年5月(第2刷)

Save Setouchi. Stop the Landfill.

瀬戸内の原風景

上関の海を未来へ



鳥島の自然を守る会

3.5キロ離れた祝島(手前集落)から見た対岸の田ノ浦

漁業への影響も心配...
漁獲のいのも危ないし

放射能も温排水も
イヤだよ!!!

え〜!!?!!
埋め立て地に
原発が建つのは?!

どんな問題点があるの???

瀬戸内海は本州と四国にはさまれた細い水路のような閉鎖性水域で、その西側の入り口にあたる上関に原発が建設され、大量の排水を放出し続けることになれば、計画地周辺のみならず、広い範囲で漁業へのダメージが心配です。

温排水に混じって放射能も流されます。長い間には、生態系への放射能の蓄積や影響が心配されます。また、事故による放射能災害も心配されます。

原発は構造上、大量の海水を冷却水として使います。取りこまれた海水は、急激に熱せられ、海に放出されるとき水温は7℃ほど上昇しています(「温排水」と呼ばれます)。海水を取りこむ間に、貝などが取れ口やハエに付かないよう、化学薬品が使用されます。これらの過程で、たくさんのプラウトや魚介類の卵、稚魚が死滅します。

瀬戸内海は国立公園の指定を受けているにもかかわらず、開発や海砂採取にさらされ、自然の海岸はたった2割しかありません。その中で、山口県南東部にある、瀬戸内海沿岸の町上関町は、開発をまぬがれ、今も海岸の7割が自然のままです。同町長島の田ノ浦は、海の水と森からの水とが混ざりあって、豊かないのちを育む海となっています。瀬戸内海以外の場所ではもう見られなくなった珍しい生きものが、ここでは数多く棲息しています。

田ノ浦、ここは生物多様性のホットスポット